

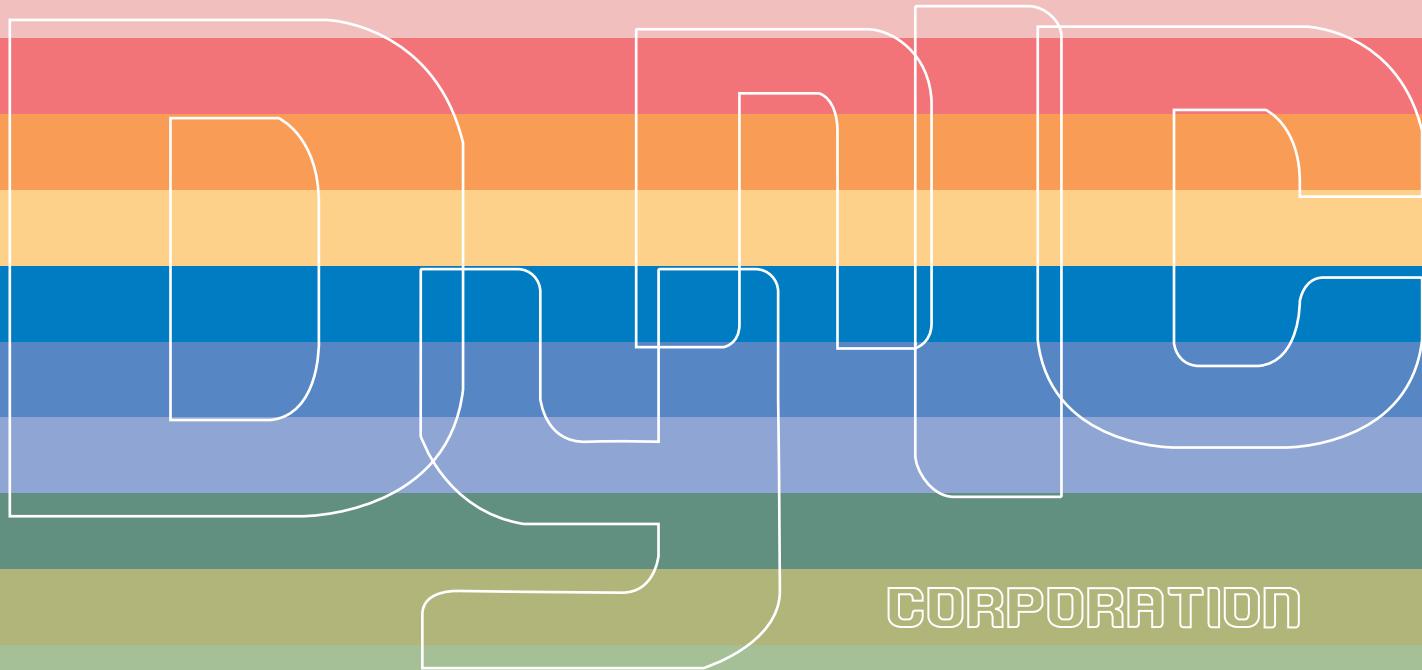
(証券コード 3551)



おかげさまで **100<sup>th</sup>** 周年

# 第156期報告書

2018年4月1日～2019年3月31日



# 技術の優位性 人の和

経営の理念

経営の基本方針

## “For The Customer”

### 会社概要 (2019年3月31日現在)

商号	ダイニック株式会社 DYNIC CORPORATION
本社	〒615-0812 京都市右京区西京極大門町26
東京本社	〒105-0004 東京都港区新橋6-17-19 (新御成門ビル)
創立	1919年8月18日
資本金	57億9,565万円
発行済株式総数	8,504千株
社員数	グループ合計1,386名
営業所/事業所 (グループ含む)	札幌、東京、名古屋、京都、大阪、福岡、 香港、シンガポール、米国、タイ、英国、 中国、インドネシア、チェコ
工場 (グループ含む)	滋賀、静岡、東京、埼玉、栃木、 シンガポール、米国、タイ、英国、中国、インドネシア、チェコ
関連会社	国内7社、海外11社
主要商品	<ul style="list-style-type: none"> <li>●文具紙工品用クロス</li> <li>●出版用クロス</li> <li>●プリンターリボン</li> <li>●銀行通帳用クロス</li> <li>●フィルムコーティング製品</li> <li>●磁気関連製品</li> <li>●表示ラベル用素材</li> <li>●名刺プリンタ</li> <li>●有機EL用水分除去シート</li> <li>●パップ剤用フィルム加工</li> <li>●壁装材</li> <li>●カーペット</li> <li>●自動車内装用資材</li> <li>●各種フィルター</li> <li>●不織布</li> <li>●産業用ターポリン</li> <li>●接着芯地</li> <li>●各種ファンシー商品</li> <li>●食品包材</li> <li>●紙管紙器</li> </ul>

### 役員 (2019年6月26日現在)

取締役会長	細田敏夫
代表取締役社長	大石義夫
常務取締役	河野秀昭
常務取締役	市川仁司
常務取締役	遠藤浩
取締役	木村博
取締役	北村圭正
取締役	小澤一雅
取締役	佐々木範明
取締役	山田英伸
取締役	辻正次
取締役	川崎茂
常勤監査役	竹内祥兼
常勤監査役	本山信之
監査役	角倉英司
監査役	川辺雅也

(注) 1. 取締役のうち、辻 正次、川崎 茂の両氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。  
2. 監査役のうち、角倉英司、川辺雅也の両氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

株主の皆様には、平素から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループ第156期（2018年4月1日から2019年3月31日まで）の報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

第156期の売上高につきましては、包材関連事業の食品包材・蓋材、食品鮮度保持剤がともに堅調で前年を上回り、全体でも前期比微増となりました。利益面につきましては、原材料費、燃料費上昇の影響もありましたが、原価改善に努めたことで印刷情報関連事業と住生活環境関連事業が前年を若干上回り、連結ベースで別記のような結果となりました。

配当につきましては現状および来期以降の事業展開等を考慮して、一株当たり25円とさせていただきます。

第157期も当社グループにおいて引き続き厳しい市場環境が予想されますが、原料高・燃料高に対応しつつ、お客様の期待に応える製品を迅速に開発することによって、経営体質の強化に努めてまいります。

当社は、2019年8月18日に創立100周年を迎えます。永きにわたる皆様のご支援とご愛顧に心より感謝いたしますとともに、次なる100年に向けて更なる成長を目指し邁進してまいります。

今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



2019年6月

代表取締役社長 大石義夫

## ●富士工場、6Pチーズ容器の製造機を増設

富士工場に6Pチーズ容器の製造機を新たにもう一台増設し、2018年10月3日に運転開始式を開催しました。

導入した新設機は6Pチーズの紙製の容器の蓋と身を断裁して成型および嵌合（はめ合わせる）する機械です。

新設機を導入することによって更なる生産性の向上を図っています。



導入された6Pチーズ容器の製造機

## ●インクジェットプリント不織布「Lifetone」を発売

2019年1月にインクジェットプリントによって意匠性を施した不織布素材「Lifetone」を発売しました。

同製品は自動車の天井材や展示会用のカーペットだけでなく、家具やインテリアの他、ブックカバーやトートバッグ等のパーソナルアイテムへの展開を図っています。



Lifetoneの使用例

## ●(株)コロニーファクトリー社のバッグ にエンボスターポリンが採用

生地や金具等の全ての素材に日本製の物を使用して「MADE IN JAPAN」にこだわりを持った、(株)コロニーファクトリー社のバッグ「TENT」に当社製のターポリンが採用されました。

店頭POPでは素材メーカーとして当社のエンボスターポリン加工技術が紹介されました。



店頭POP



ターポリンを使用したバッグ

## ●海外グループ会社、 DYNIC (CZ) s.r.o. を設立

海外グループ会社のDYNIC (UK) LTD.がチェコ共和国に子会社のDYNIC(CZ)s.r.o.を設立し、2019年1月1日から操業を開始しました。

同社はDYNIC (UK) LTD.の子会社としてサーマルトランスファーリボン等を欧州大陸を中心に加工・販売していきます。



DYNIC(CZ)s.r.o.

### ■経営の実績 当期の概況

当連結会計年度（2018年4月1日から2019年3月31日）におけるわが国経済は、豪雨・震災等の大規模な自然災害による影響があったものの、企業収益、雇用環境の改善が進み緩やかな回復基調で推移しました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、引き続き収益改善への取り組みを継続してまいりましたが、原油価格の上昇に伴う原材料・燃料費の高騰を吸収しきれず、期を通じて利益面では苦戦いたしました。

その結果、売上高は40,426百万円（前期比1.0%増）となりました。

利益面につきましては、営業利益1,001百万円（前期比1.3%増）、経常利益1,073百万円（前期比5.1%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は717百万円（前期比18.3%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

なお、セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高が含まれております。

### ■印刷情報関連事業

印刷被写体においては、出版・文具用途では紙クロス・布クロスの新たな取り組みとして、パッケージ用途に注力しておりますが、主力の出版関係の規模縮小が続き、前期比減となりました。また、文具用途のレーザー製品は海外向けの受注が低調で、前期比減となりました。一方、産業用の品質表示ラベルはユニフォーム等のリネン類、自動車関連用途等で国内・海外とも堅調に推移し、前期比増となりました。

印字媒体においては、主力のラベル等の印字用熱転写リポンは国内・海外とも堅調に推移し、前期比増となりました。

その結果、当セグメントの売上高は17,309百万円（前期比0.1%減）、営業利益は991百万円（前期比2.1%増）となりました。

### ■住生活環境関連事業

不織布は、車輛用途の天井・内装材が国内減産の影響で若干の落ち込みがありました。フィルターおよび建材用途で前年を上回り、前期比増となりました。

壁装材は、市況悪化により年間を通じて苦戦し、前期比減となりました。

産業用ターポリンは、主力のコンテナの他、災害対応需要やトンネル工事用の送風管受注もあり、前期比増となりました。

衣料用接着芯地は、国内・海外ともに低調で、前期比減となりました。

その結果、当セグメントの売上高は13,835百万円（前期比0.8%増）、営業利益は460百万円（前期比1.7%増）となりました。

### ■包材関連事業

食品包材・蓋材は、国内・海外とも堅調に推移し、前期比増となりました。

食品鮮度保持剤は、主に中国向けが堅調に推移し、前期比増となりました。

その結果、当セグメントの売上高は6,519百万円（前期比4.5%増）、営業利益は352百万円（前期比7.9%減）となりました。

### ■その他

商品等運送は、堅調に推移し、前期比増となりました。

ファンシー商品は、全般的に低調で、前期比減となりました。

その結果、売上高は3,944百万円（前期比0.8%減）、営業利益は140百万円（前期比4.5%減）となりました。

### ■対処すべき課題

次期の見通しにつきましては、わが国経済は緩やかな回復基調が続くものと思われませんが、一方でこの秋に予定されている消費税増税による消費への影響、終息の見通しが立たない米中貿易摩擦と中国経済の減速の懸念等、先行き不透明な状況であります。

このような状況下、当社グループにおきましては、コア技術技術を核とした要素技術を有機的に複合した製品開発、特に環境対応型の高機能・高付加価値製品開発に努めるとともに、よりスピーディーにお客様のニーズに対応した営業活動を推進してまいります。

同時に、代替原料・設計仕様変更等、徹底した原価低減活動に努め、更なる採算性の改善を進め、収益基盤の強化に取り組んでまいります。

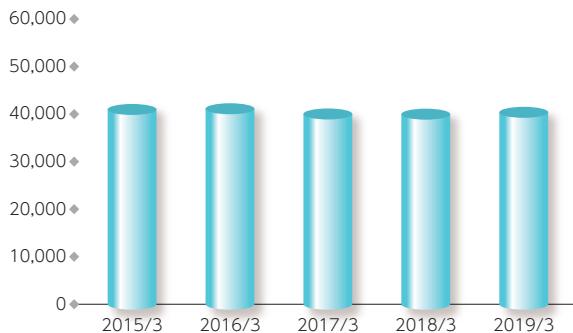
また、コーポレートガバナンスの強化に積極的に取り組み、企業の社会的責任を果たすとともに、内部統制の維持・向上、リスク管理体制の強化を継続的に進め、透明性の高い経営体制の下で、株主をはじめとするステークホルダーの皆様に対する経営責任と説明責任を果たしてまいります。

本年8月で、当社は創立100周年を迎えます。今後の更なる発展に向けたステップの年とするべく、グループを挙げた取り組みをしてまいります。

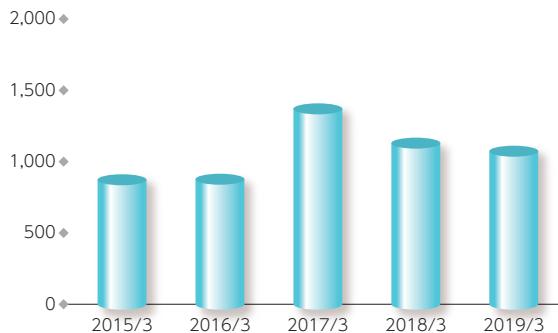
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

# 業績ハイライト (連結)

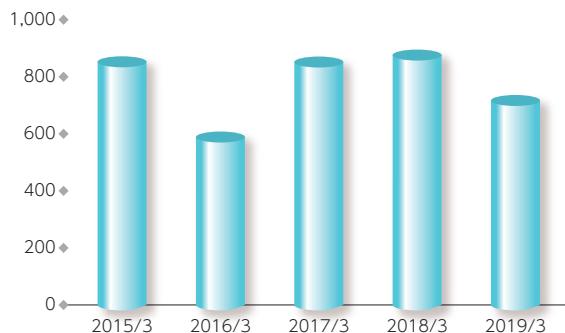
■売上高 (単位：百万円)



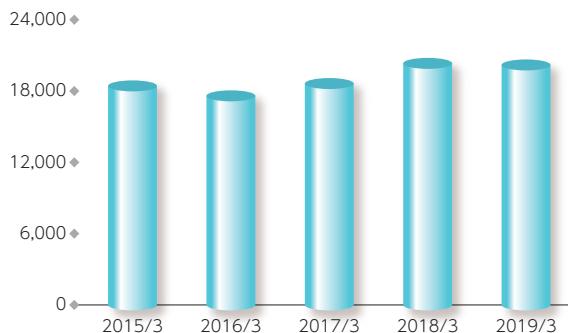
■経常利益 (単位：百万円)



■親会社株主に帰属する当期純利益 (単位：百万円)



■純資産 (単位：百万円)



		2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
売上高	(百万円)	41,051	41,190	40,088	40,021	40,426
営業利益	(百万円)	656	797	1,200	988	1,001
経常利益	(百万円)	873	877	1,370	1,131	1,073
親会社株主に帰属する 当期純利益	(百万円)	853	589	852	877	717
売上高営業利益率	(%)	1.6	1.9	3.0	2.5	2.5
純資産	(百万円)	18,403	17,582	18,606	20,324	20,194

## 貸借対照表

(単位：百万円)

### ■資産の部

科目	前 期 2018年3月31日	当 期 2019年3月31日
<b>流動資産</b>	<b>22,479</b>	<b>23,094</b>
現金及び預金	3,988	3,387
受取手形及び売掛金	8,267	8,522
電子記録債権	2,828	3,141
たな卸資産	7,024	7,599
その他の流動資産	456	527
貸倒引当金	△84	△82
<b>固定資産</b>	<b>32,357</b>	<b>31,493</b>
有形固定資産	20,085	20,057
建物及び構築物	5,412	5,274
機械装置及び運搬具	3,455	3,801
土地	10,251	10,204
その他の有形固定資産	967	778
無形固定資産	69	145
投資その他の資産	12,203	11,291
投資有価証券	8,753	7,903
繰延税金資産	153	160
その他の投資	3,338	3,269
貸倒引当金	△41	△41
<b>資産合計</b>	<b>54,836</b>	<b>54,587</b>

### ■負債の部

科目	前 期 2018年3月31日	当 期 2019年3月31日
<b>流動負債</b>	<b>22,714</b>	<b>23,506</b>
支払手形及び買掛金	8,565	9,251
短期借入金	11,777	12,339
未払法人税等	353	87
設備関係支払手形	480	432
その他の流動負債	1,539	1,397
<b>固定負債</b>	<b>11,798</b>	<b>10,887</b>
長期借入金	6,334	5,926
退職給付に係る負債	1,692	1,527
再評価に係る繰延税金負債	1,299	1,299
その他の固定負債	2,473	2,135
<b>負債合計</b>	<b>34,512</b>	<b>34,393</b>

### ■純資産の部

科目	前 期 2018年3月31日	当 期 2019年3月31日
<b>株主資本</b>	<b>14,365</b>	<b>14,871</b>
資本金	5,796	5,796
資本剰余金	945	945
利益剰余金	7,657	8,163
自己株式	△33	△33
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>5,823</b>	<b>5,052</b>
その他有価証券評価差額金	3,256	2,622
土地再評価差額金	2,799	2,799
為替換算調整勘定	△122	△274
退職給付に係る調整累計額	△110	△95
<b>非支配株主持分</b>	<b>136</b>	<b>271</b>
<b>純資産合計</b>	<b>20,324</b>	<b>20,194</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>54,836</b>	<b>54,587</b>

## 損益計算書

(単位：百万円)

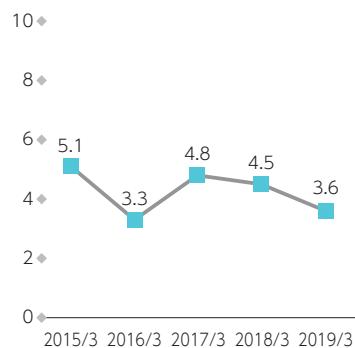
科目	前 期 2017年4月1日～ 2018年3月31日	当 期 2018年4月1日～ 2019年3月31日
売上高	40,021	40,426
売上原価	32,497	32,967
売上総利益	7,524	7,459
販売費及び一般管理費	6,536	6,458
営業利益	988	1,001
営業外収益	541	536
営業外費用	398	464
経常利益	1,131	1,073
特別利益	408	25
特別損失	203	56
税金等調整前当期純利益	1,336	1,042
法人税、住民税及び事業税	469	320
法人税等調整額	51	81
当期純利益	816	641
非支配株主に帰属する当期純損失 (△)	△61	△76
親会社株主に帰属する当期純利益	877	717

## キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	前 期 2017年4月1日～ 2018年3月31日	当 期 2018年4月1日～ 2019年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,161	895
投資活動によるキャッシュ・フロー	△601	△1,182
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,035	50
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	△46
現金及び現金同等物の増減額	528	△283
現金及び現金同等物の期首残高	2,838	3,366
現金及び現金同等物の期末残高	3,366	3,083

## 自己資本当期純利益率 (単位：%)



## 会社の株式に関する事項 (2019年3月31日現在)

発行可能株式総数	30,000,000株
発行済株式総数	8,504,747株 (自己株式30,135株を含む)
株主数	3,014名

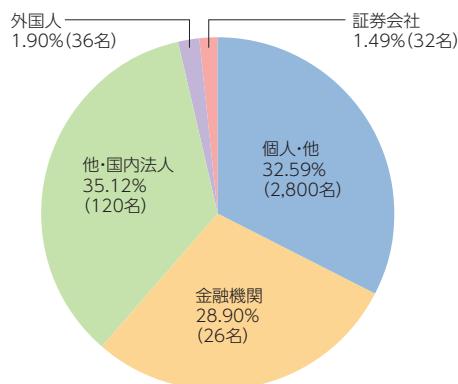
## 当社の大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
ニックグループ持株会	385	4.54
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	349	4.12
株式会社良品計画	259	3.06
三井住友海上火災保険株式会社	242	2.85
株式会社ヤクルト本社	206	2.44
株式会社三井住友銀行	200	2.35
みずほ信託銀行株式会社	200	2.35
住友不動産株式会社	197	2.32
株式会社滋賀銀行	192	2.26
株式会社武蔵野銀行	192	2.26

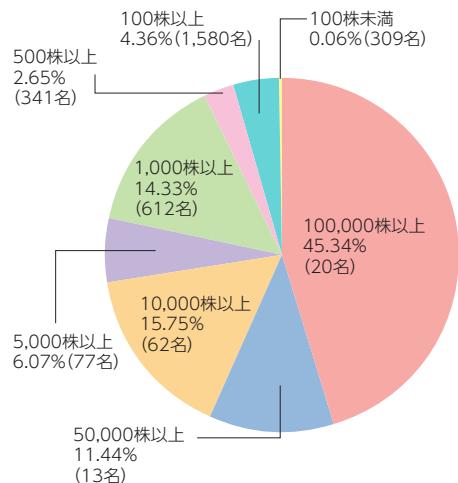
(注) 持株比率は自己株式 (30,135株) を控除して計算しております。

## 分布状況

### 所有者別



### 所有数別



## ダイニックグループ (2019年3月31日現在)

(国内)	(海外)
ダイニック株式会社	NC STAFLEX CO.,PTE.,LTD.
ダイニック・ジュノ株式会社	DYNIC (HK) LTD.
大和紙工株式会社	DYNIC USA CORP.
ニックフレート株式会社	THAI STAFLEX CO., LTD.
ダイニックファクトリーサービス株式会社	DYNIC (UK) LTD.
オフィス・メディア株式会社	DYNIC (CZ) s.r.o.
大平産業株式会社	大連大尼克辦公設備有限公司
大野クロス株式会社	昆山司達福紡織有限公司
	達妮克國際貿易(上海)有限公司
	TPCNIC CO.,LTD.
	PT.DYNIC TEXTILE PRESTIGE

## 本社および事業所 (グループ含む)

京都本社	京都市右京区西京極大門町26 〒615-0812 TEL (075) 313-2111
東京本社	東京都港区新橋6-17-19 (新御成門ビル) 〒105-0004 TEL (03) 5402-1811
王子分室	東京都北区浮間5-4-44 〒115-0051 TEL (03) 3966-9333
大阪支社営業所	大阪市中央区南船場2-5-12 (クリスタファイビル) 〒542-0081 TEL (06) 6262-3010
名古屋支社営業所	名古屋市中区葵3-15-31 (千種ニュータワービル) 〒461-0004 TEL (052) 979-2370
札幌営業所	札幌市白石区中央三条4-3-47 〒003-0013 TEL (011) 825-1344
福岡営業所	福岡市博多区東光2-20-22 〒812-0008 TEL (092) 451-9232
滋賀工場	滋賀県犬上郡多賀町大字多賀270 〒522-0341 TEL (0749) 48-1717
埼玉工場	埼玉県深谷市内ヶ島500 〒366-0831 TEL (048) 572-3311
王子工場	東京都北区浮間5-4-44 〒115-0051 TEL (03) 3966-0171
富士工場	静岡県富士市宇東川西町1-2 〒417-0854 TEL (0545) 52-3885
真岡工場	栃木県真岡市松山町16 〒321-4346 TEL (0285) 82-4121

## ダイニックホームページのご案内

当社の製品情報やIR情報など、詳しい情報を掲載しております。  
是非ご覧ください。

<http://www.dynic.co.jp>



## 単元未満株式の買取・買増制度のご案内

証券取引所(金融商品取引所)で売買できない単元未満株式は、以下の方法で処分することができます。

### ●単元未満株式の買取制度を利用

単元未満株式を当社に対して市場価格で売却する制度です。



### ●単元未満株式の買増制度を利用

単元未満株式を当社から市場価格で買い増しして、単元株とする制度です。



単元未満株式の買取および買増にかかる当社の手料は無料※  
ですので、ご利用をご検討ください。

※お取引のある証券会社等へ支払う手数料については、別途証券会社等にご確認ください。

本件に関してご不明な点がございましたら、お取引の証券会社、または下記の当社株主名簿管理人までお問い合わせください。

株主名簿管理人  
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-288-324 (フリーダイヤル)

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日	
定時株主総会	3月31日
剰余金の配当	3月31日（中間配当を行なう場合は9月30日）
定時株主総会	6月下旬
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号
事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問合せ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
各種手続取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)	お取引の証券会社等になります。	みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース（みずほ銀行内の店 舗）でもお取扱いいたします。 みずほ信託銀行 本店および全国各支店（※） （※）トラストラウンジではお取扱でき ませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行（※）およびみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります) (※) トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問合せ先・各種手続取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。 証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行なっていただく必要があります。

上場証券取引所	東京
証券コード	3551
公告方法	当社のホームページ ( <a href="http://www.dynic.co.jp">http://www.dynic.co.jp</a> ) に掲載します。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。



〒105-0004  
東京都港区新橋 6-17-19 (新御成門ビル)  
TEL 03-5402-1811 FAX 03-5402-3146



見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。